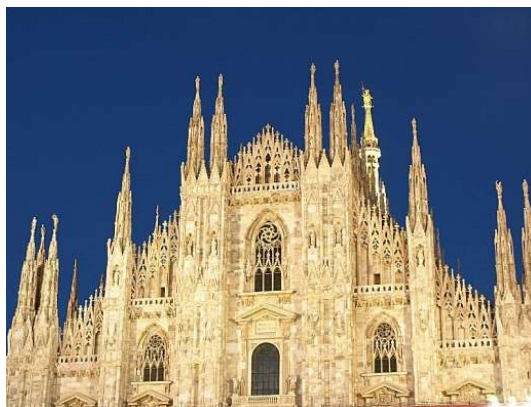




- 研修旅行の目的 -

スタッフ各位

毎年、DAN総合設計として貴重な時間を割いて研修旅行を慣行している理由として、普段経験する事の出来ない文化、建築を直接体験し、その感動がDAN総合設計の共有財産となり、蓄積されスタッフ個々のレベルアップにも繋がり、仕事に反映、生かされることを第一に考えています。旅行後を書くレポートは、書くことで、自分自身が感じてきたものを確実にするだけでなく、感じたものを他の人たちに思いを伝える表現力を身に付ける場でもあります。

またこの研修期間は、大勢の人と行動を共にする期間でもあり、DAN総合設計のスタッフとして普段の生活同様、挨拶、目上の人に対する敬意、人への配慮、気づかい、行動、時間、服装等を意識しながら再認識する良い機会です。建築の設計にも当てはまるものだと思います。

長時間行動を共にする事で、会社組織としてコミュニケーションを図り、お互いの長所・短所が見えることもあり、見直しのきっかけとして考えたいものです。この研修旅行を段取りする幹事さんは、普段の仕事の中で、段取りを行ない準備します。これはかなりの負担となります。幹事さん一人まかせでは無く、皆が気持ち良く旅行をするためには、個々が気の付いたことをサポートし幹事さんへの協力が、必要不可欠です。

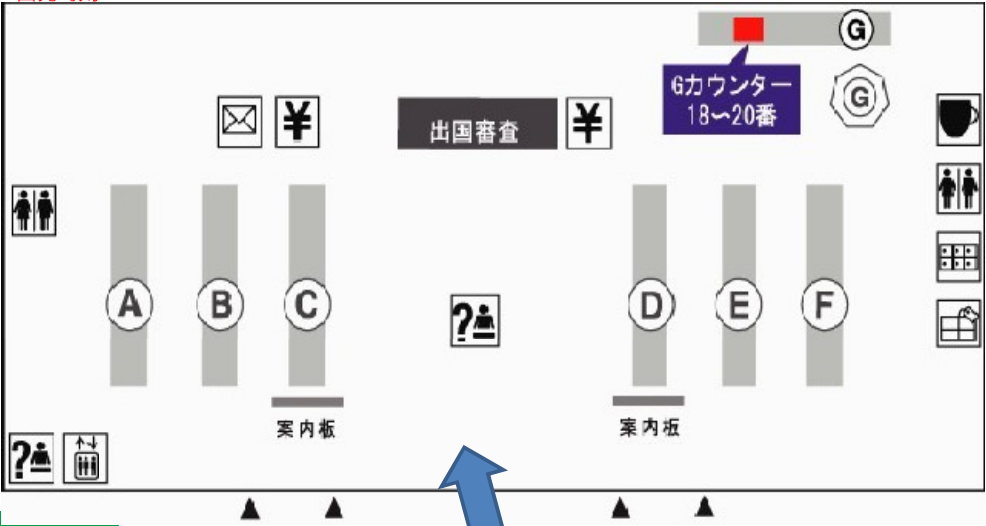
毎年、旅行中での問題点を蓄積して行き、次回につなげ改善し、有意義な研修旅行が出来るように意識していきましょう。

株式会社DAN総合設計 海外研修旅行
イタリア

2015/10/2 - 10/9

■空港での集合について

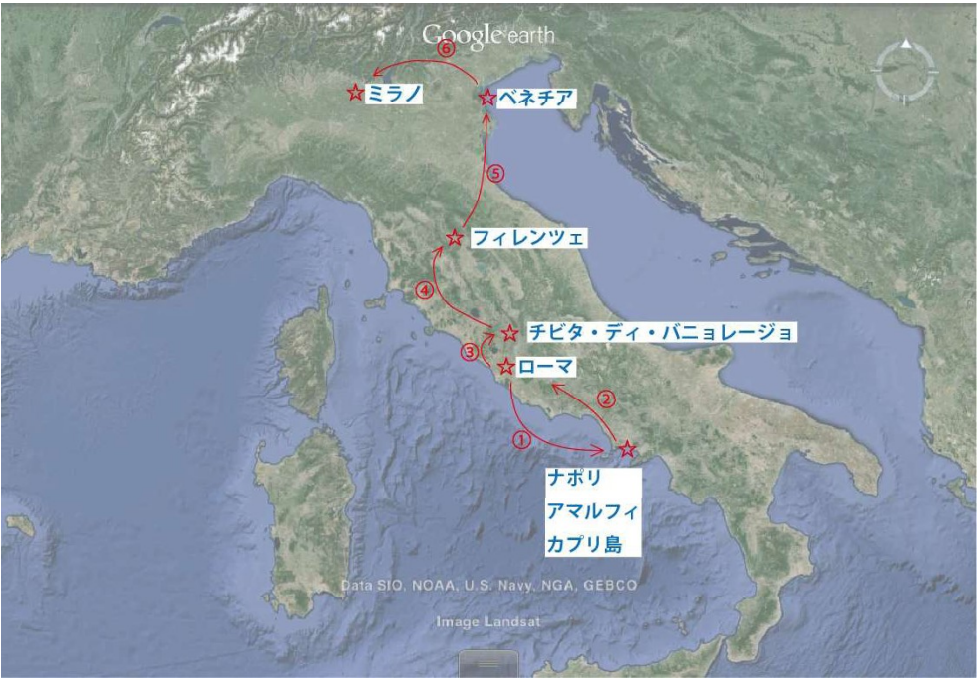
集合時間：2015.10.2 (金) 11:00
集合場所：成田国際空港第1ターミナル4F 北ウィングGカウンター8～20番
阪急交通社 受付カウンター
出発便：アリタリアーイタリア航空0787便
出発時刻：13:00



※10:30にこちらに集合してください。



- マップ -



- スケジュール表 -

日付	時間	内容	備考
10/2(金) 1日目	7:00		
	8:00	成田エクスプレス乗車(NEX13号) 大船 (8:08) ,戸塚 (8:14) ,横浜 (8:26) ,品川 (8:49)	※10分前集合
	9:58	成田空港到着	
	10:30	DANの集合 (左記のマップ参照) ゲストの紹介・嶋川幹事よりコメント	挨拶：小島室長
	11:00	旅行会社集合時間 塔上手続き・両替	
	12:00		
	13:00	成田発 AZ-0787便 (飛行機:12時間30分)	昼食：機内食
	14:00		
	15:00		
	16:00		
	17:00		
	18:30	ミラノ着 乗り継ぎ	
	19:25	ミラノ発 AZ-1023便 (飛行機：1時間15分)	夕食：注意
	20:40	ローマ着 その後ナポリヘナポリへ向け出発 (4時間)	
	25:00	ホテル着 ※到着後に翌日の予定説明をさせていただきます。	挨拶：小島室長 ホテル名 スイツァント・レジデンス



- マップ -



- スケジュール表 -

日付	時間	内容	備考
10/3(土) 2日目	7:45	朝食 ホテルロビー集合 ※担当者からの説明が5～10分	注意事項等伝達
	8:15	ホテル出発（バス：1時間5分）	
	9:10	高速船にてカプリ島へ（高速船：45分）	
	9:55	カプリ島到着 青の洞窟観光（1時間、内部を小舟での見学）	
	11:00		
	12:00	レストランにて昼食	昼食：レストラン
	13:40	高速船にてナポリへ（船：45分）	
	14:25	ナポリ到着後、アマルフィ海岸へ（バス2時間）	
	15:00	アマルフィ海岸ドライブ観光（1時間） ※ポジターノとアマルフィ海岸の景色を見ます。	
	16:00		
	17:00	観光後ナポリへ向け出発（バス：2時間）	
	18:00		
	19:00	夕食	夕食：ピザ コメント：追久保
	20:30	ホテル着（ナポリ泊）※翌日の予定の説明	
	21:00	歓談予定	

カプリ島

アマルフィ海岸(パノラマ)



①：アマルフィ海岸



アマルフィ海岸は、イタリア南部のソレント半島南岸、アマルフィー帯のサレルノ湾に面した海岸を指す名称。「世界一美しい海岸」と云われる景勝地・避寒地で、1997年にユネスコの世界遺産に登録された。

30キロメートルに及び海岸線には斜面に張り付くように小さな町が点在している。降り注ぐ太陽と白い町並みがまぶしい高級リゾート地である。

町の中心には千年の歴史をほこる大聖堂、アマルフィ大聖堂がある。それを取り囲むように地中海都市特有の坂道と狭い路地が複雑に入り組んで、まるで迷宮のようである。

人々は中世から変わらぬ生活が続け、レモンを畑で育て、坂の下まで人の手と足で大切に運ばれる。

②：青の洞窟



青の洞窟からはポセイドンやトリトンの彫像が発見され、ローマ帝国の皇帝が個人的な水泳用のプールや入浴に使用していたと考えられている。また、かつては地上から洞窟へ至る人工的な地下通路があったかもしれないと考えられている。

主に石灰岩で構成される洞窟に入ると奥行54m高さ15mの空間が広がり、洞窟全体が紺碧の光を帯び神秘的な雰囲気です。

海水の青さは、石灰質を多く含んだ洞窟内の水に狭い入口からそそぐ太陽の光の反射によるもので、午後よりも午前中のほうがあざやかな青色に水面が輝きます。



- マップ -



- スケジュール表 -

日付	時間	内容	備考
10/4(日) 3日目		朝食	
	8:00 8:30	ホテルロビー集合 ※担当者からの説明が5～10分 ※集合前にチェックアウトをしてください。 ホテル出発 (バス3時間30分)	注意事項等伝達
	9:00		
	10:00		
	11:00		
	12:30	ローマ到着 昼食	昼食：ポーク料理
	13:30	ローマ歴史地区観光 (徒歩：2時間) ※トレビの泉・コロッセオ・スペイン広場を降車して見学。サン ピエトロ寺院は内部も見学。	※コロッセオにて 集合写真撮影予定
	14:00	途中、総合免税店ローマ三越にてショッピング (40分)	
	15:30	ヴァチカン市国観光 (徒歩：1時間)	
	16:00		
	17:00		
	18:00	夕食 ホテルディナー予定 (ドレスコード：スマートカジュアル→ジャケット、ノネクタイ)	夕食： 挨拶：会長 コメント：新井
	19:00		
	20:30	ホテル着 (ローマ泊) ※翌日の予定の説明	注意事項等伝達
	21:00		ホテル アルデアディナパークホテル

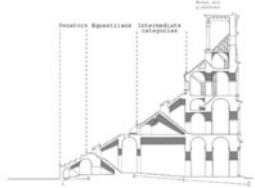
ローマ歴史地区＆ヴァチカン市国

①：トレヴィの泉



トレヴィの泉は、ローマにある最も巨大なバロック時代の人工の泉(噴水)である。ポリー宮殿の壁と一体となったデザインで、中央に水を司るネプトゥヌスが立ち、左に豊饒の女神ケレス、右に健康の女神サルースが配置されている。これら池全体の造作はニコラ・サルヴィの原案でピエトロ・ブラッチが制作した。後ろ向きにコインを泉へ投げ入れると願いが叶うという言い伝えがあり、投げるコインの枚数によって願いが異なるとされる。コイン1枚だと再びローマに来ることができ、2枚では大切な人と永遠に一緒にいることができ、3枚になると恋人や夫・妻と別れることができると言われる。3枚の願いはキリスト教が離婚を禁止していたという歴史の名残りである。このコインは半分がカトリック系チャリティ団体に寄付される。

②：コロッセオ



コロッセウムは、ローマ帝政期に造られた円形闘技場。英語で競技場を指す colosseum や、コロシムの語源ともなっている。長径188m、短径156mの楕円形で、高さは48m、約5万人を収容できた。また、天井部分は開放されているが、日除け用に布を張る設備があった。皇帝席には一日中直射日光が当たらないように設計されており、また一般の観客席についても一日に20分以上日光が当たらないように工夫がなされていた。人力エレベーターも存在し、剣闘選手の入場に用意されていた。現在ではその巻き上げを行った柱の跡が残っている。断面図：前列は元老院階級席、中列が騎士階級席、その後ろが裕福なローマ市民席、最後列が一般市民と女性席

③：スペイン広場



スペイン広場はイタリア共和国ローマ市の中心街にある広場で、間近にあるスペイン大使館にちなんで命名された。広場の中央には、ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ作「バルカッチャの噴水」がある。東には後述の大階段がある。西側はコルソ通りに向けてコンドッティ通りがある。設計はフランチェスコ・ディ・サンクティスによるもので、1725年に完成した。波を打つような形態はバロック的な効果をあげている。映画『ローマの休日』で、オードリー・ヘプバーン扮する王女がジェラートを食べたシーンでもおなじみの場所である。また、保全のため広場での飲食は法律で禁じられており、『ローマの休日』のシーンのようにジェラートを食べる事はできない。

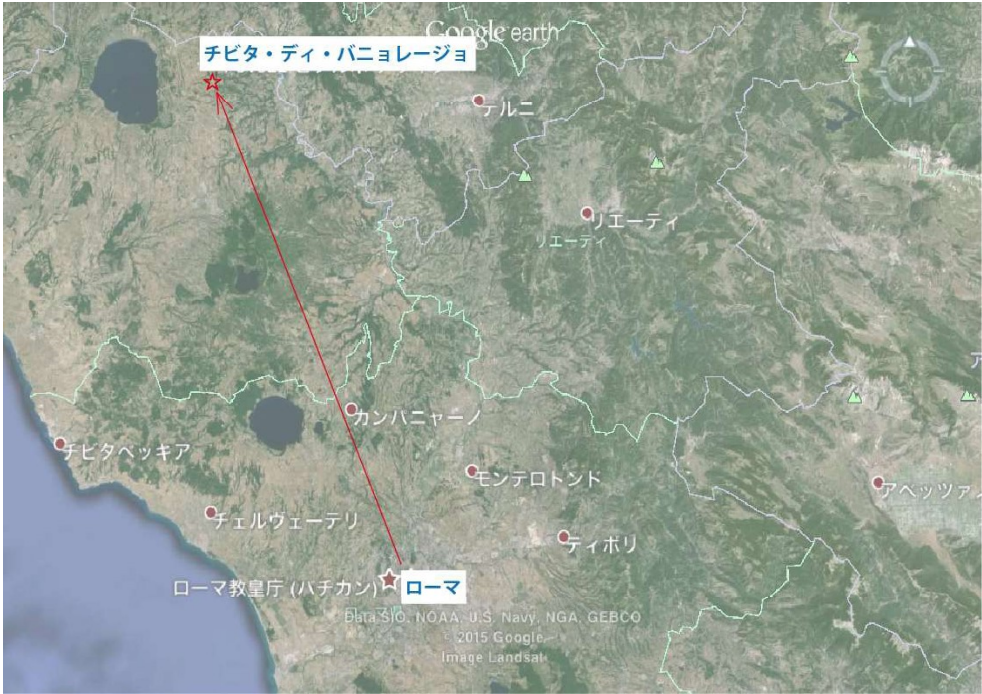
④：サン・ピエトロ大聖堂



サン・ピエトロ大聖堂は、バチカン市国南東端にあるカトリック教会の総本山。サン・ピエトロは「聖ペトロ」の意で、キリスト教の使徒ペトロのイタリア語読みに由来する。サン・ピエトロ大寺院、聖ペテロ大聖堂、セント・ピーター寺院などと表記されることもある。カトリック教会の伝承によれば、サン・ピエトロ大聖堂はもともと使徒ペトロの墓所を祀る聖堂とされ、キリスト教の教会建築としては世界最大級の大きさを誇る。床面積2万3,000m²。北に隣接してローマ教皇の住むバチカン宮殿、バチカン美術館などがあり、国全体が『バチカン市国』としてユネスコの世界遺産に登録されている。



- マップ -



- スケジュール表 -

移動の多い日
です。

日付	時間	内容	備考
10/5(月) 4日目	7:15	朝食 ホテルロビー集合 ※担当者からの説明が5～10分 ※集合前にチェックアウトをしてください。	注意事項等伝達
	7:45	ホテル出発 チビタ・ディ・バニョレージョへ。(バス：2時間)	
	9:00		
	9:45	チビタ・ディ・バニョレージョ観光(徒歩：1時間)	
	10:45	フィレンツェへ移動(バス：3時間)	
	12:00		
	13:45	フィレンツェ到着(ミケランジェロ広場・ドゥオモ・ ベッキオ宮殿・シニョーリア広場)※外観のみの見学 途中、イタリア皮革店にてショッピング(40分)	ミランツ10広場 集合写真撮影予定
	14:15	レストランにて昼食	昼食：チキン料理
	15:00		
	16:00		
	17:00		
	18:00	夕食	夕食：キノのバス 挨拶：さち子先生
	19:00	ホテルへ	
	19:30	(プラト泊) ※夕食後に、翌日の予定の説明	
	20:30	歓談予定	ホテル ウォール アート

ラツィオ州＋フィレンツェ

①：チビタ・ディ・バーニョレージョ



チヴィタ・ディ・バーニョレージョは、イタリア共和国ラツィオ州ヴィテルボ県バーニョレージョに属する分離集落（フラツィオーネ）である。2500年以上前にエトルリア人によってつくられた都市であるが、台地辺縁部の崩落によってその上の建物が崩れる危機に常にさらされており、「死にゆく町」とも言われる。

②：ミケランジェロ広場



町の東南の丘の上に位置していて、フィレンツェの展望台として有名な「ミケランジェロ広場」は人気の観光名所である。夏は夜遅くまで賑わっていて、フィレンツェっ子の恋人たちのデートスポットとなっている。それほど夜景はロマンティックで美しい。広場の中心には「ミケランジェロの記念碑」が建ち、ダヴィデ像のコピーが置かれている。

ミケランジェロ広場からの景色は、ドゥオモのクーポラからのそれとはまたひと味違って感動的である。



- マップ -



- スケジュール表 -

日付	時間	内容	備考
10/6(火) 5日目	7:00 7:45	朝食 ホテルロビー集合 ※担当者からの説明が5～10分 ※集合前にチェックアウトをしてください。	
	8:15	ホテル出発 (バス：30分)	注意事項等伝達
	8:45	フィレンツェ歴史地区観光 (ウフィッツェ美術館で名画鑑賞)	
	9:45		
	11:00	・OP：ピサ観光 (昼食付き) ・自由行動 ※約5時間あります。	
	12:00		昼食：各自
	13:00		
	14:45	集合場所に集合	※場所は未定
	15:00	ヌエンタディビアヴェへ移動 (バス：4時間)	
	16:00		
	17:00		
	18:00		
	19:15 19:45	ホテル着 (ヌエンタディヴィアヴェ泊) 夕食	夕食：ホテル 挨拶 宮原執行役員
		※担当者からのまとめ、翌日の予定の説明	ホテル ベーストゥステイ

フィレンツェ

①：ウフィツェ美術館



ウフィツェ美術館は、イタリアルネサンス絵画で有名な美術館である。1591年より部分的に公開されており、近代式美術館としてヨーロッパ最古のもの1つである。またイタリア国内の美術館としては収蔵品の質、量ともに最大のものである。1982年に世界遺産フィレンツェ歴史地区の一部として認定されている。メディチ家歴代の美術コレクションを収蔵する美術館であり、イタリアルネサンス絵画の宝庫である。展示物は2,500点にのぼり、古代ギリシア、古代ローマ時代の彫刻から、ボッティチェッリ、レオナルド、ミケランジェロ、ラファエロらイタリアルネサンスの巨匠の絵画を中心に、それ以前のゴシック時代、以後のバロック、ロココなどの絵画が系統的に展示されている。

②：ドゥオーモ（サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂）



巨大なドームが特徴の大聖堂は、イタリアにおける晩期ゴシック建築および初期ルネサンス建築を代表するもので、フィレンツェのシンボルとなっている。石積み建築のドームとしては現在でも世界最大[要出典]である。このドームは二重構造のドームで互いを押し合う設計になっており、木枠を使わずに煉瓦を積み上げて製作している。建物の主軸はほぼ東西に通り、西に八角形の洗礼堂、東にラテン十字の平面をもつ大聖堂が並び、両者の正面玄関が正対する。大聖堂は東に至聖所、西に正面玄関をもつ。鐘楼は大聖堂の南西隅に配置されている。大聖堂の広場をへだてた東側には付属の美術館があり、教会の宝物や、かつて外部をかざっていた美術品がおさめられている。三つの建築物とも世界遺産フィレンツェ歴史地区の一部として指定されている。

③：ヴェッキオ宮殿



ヴェッキオ宮殿は、シニョリーア広場に面している宮殿である。1299年から1314年にかけてアルノルフォ・ディ・カンピオによって建設され、初めは、フィレンツェ共和国の政庁舎として使われ、一時、メディチ家もピッティ宮殿へ移るまでここを住居としていた。1550年から1565年の間に、ジョルジョ・ヴァザーリによって部分的に改築された。現在でも、フィレンツェ市庁舎として使われている。内部は、「フランチェスコ1世の仕事部屋」「500人大広間」「レオ10世の間」「ゆりの間」などの部屋に分かれている。

2007年5月、イタリア文化庁は、レオナルド・ダ・ヴィンチの幻の壁画「アンギアーリの戦い」が500人大広間にあるヴァザーリの壁画の裏側に隠されていると発表した。

④：シニョーリア広場



シニョリーア広場は、イタリアのフィレンツェにあるヴェッキオ宮殿前のL字形の広場である。フィレンツェ共和国の歴史の焦点であり、原点でもあり、今も市の政治的中心地としてその名誉を維持している。周辺にヴェッキオ橋、ドゥオモ広場、ウフィツェ美術館へ向かう道などがあり、観光客も多く、地元民の待ち合わせ場所にもなっている。

この広場は長い間穴だらけでひどい状態だったが、1385年に初めて舗装された。1497年、シロラモ・サヴォナローラが「虚栄の焼却」と称して本や贅沢品を燃やしたのもこの広場だった。

⑤：ピサの斜塔



フィレンツェの展望台として有名な「ミケランジェロ広場」は人気の観光名所である。夏は夜遅くまで賑わっていて、フィレンツェっ子の恋人たちのデートスポットとなっている。それほど夜景はロマンティックで美しい。広場の中心には「ミケランジェロの記念碑」が建ち、ダヴィデ像のコピーが置かれています。ミケランジェロ広場からの景色は、ドゥオモのクーポラからのそれとはまたひと味違って感動的です。のんびりフィレンツェを楽しみたい方にお勧めです。



- マップ -



- スケジュール表 -

日付	時間	内容	備考
10/7(水) 6日目	7:15	ホテルロビー集合 ※担当者からの説明が5～10分 ※集合前にチェックアウトをしてください。	注意事項等伝達
	7:45	ホテル出発 (バス/ボート/徒歩: 45分)	
	8:30	ヴェネチア市内観光 (2時間) ドゥカーレ宮殿・サンマルコ寺院・サンマルコ広場を見学。※外観のみの見学	サンマルコ寺院 集合写真予定
	10:00	途中、ヴェネチアングラス工房見学とショッピング (40分) O P : ギョンドラ遊覧	
	11:45	昼食	昼食: 魚料理
	12:45	ミラノへ移動 (ボート/バス: 4時間15分)	
	13:00		
	14:00		
	15:00		
	16:00		
	17:00	ミラノ市内観光 (徒歩: 1時間) ドゥオモ・ヴィットリオ・エマヌエレ2世ガレリアを見学。※外観のみの見学	
	18:15	夕食	夕食: カツレツ 挨拶: 竹内副所長
	19:45	ホテル着※担当者からのまとめ、翌日の予定の説明	注意事項等伝達 ホテル ボリツィアーノ・フィエラ
	20:45	歓談予定	

ヴェネチア & ミラノ

①：ドゥカーレ宮殿



ドゥカーレ宮殿は、ヴェネツィア共和国の総督邸兼政庁であった建造物。8世紀に創建され、14世紀（1309年）-16世紀にかけて現在の形に改修された。サン・マルコ広場に面して建造され、運河を隔てて対岸の牢獄跡と、ため息橋で結ばれている。外観はゴシック風のアーチが連続し、イスラム建築の影響も見られる細やかな装飾が施されている。現在内部は、ヴェネツィア市民美術館財団の運営する美術館の一つとして公開されている。

②：サン・マルコ広場



サン・マルコ広場はヴェネツィアの中心的な広場で、回廊のある建物に囲まれ、ドゥカーレ宮殿やサン・マルコ寺院などがある。サン・マルコ広場は世界で最も美しい広場とも言われており、観光名所のほか、海からの玄関口でもある。サン・マルコは、ヴェネツィアの守護聖人である福音記者マルコに、由来する。サン・マルコ寺院の聖堂の正面部分は柱廊に囲まれた台形になっていて、実際より奥行きがあるようにみえる。この台形広場に、海に面したサン・マルコ小広場が続いており、全体としてL字型になっている。小広場には2本の柱があり、それぞれ頂上にはサン・マルコの獅子の彫像と聖テオドーロの彫像がある。中世にはこの柱の間に死刑執行台を設置したため、ヴェネツィアっ子は柱の間を通り抜けないという。

③：サン・マルコ寺院



サン・マルコ寺院は、福音記者マルコにささげられた、イタリアのヴェネト州の州都ヴェネツィアで最も有名な大聖堂で、ビザンティン建築を代表する記念建築物であるとされ、その当時コンスタンティノポリスで500年以上も前に流行した形式を採用している。サン・マルコ広場に面して建ち、総督の館であるドゥカーレ宮殿に隣接し繋がっている。建物内は、黄金に煌く壁や天井と、祭壇には2,000個もの眩い宝石が埋め込まれた黄金の衝立がある。1807年からはヴェネツィア大司教座が置かれている。

④：ドゥオーモ



ミラノのドゥオーモは、都市の中心の同名のドゥオーモ広場に位置し、聖母マリアに献納されている建物である。500万人のカトリック信者がいる世界最大の司教区であるミラノ大司教区を統括する首都大司教の司教座聖堂であり、その大司教は2011年からアンジェロ・スコーラ枢機卿が務めている。このドゥオーモ広場の南にヴィットーリオ・エマヌエーレ2世のガッレリアがあり、そのままスカラ座へ通じている。また、世界最大級のゴシック建築であり、5世紀もの歳月をかけて多くの芸術家によって完成された。階段またはエレベータによって聖堂の上に登ることができる。

⑤：ガッレリア



ヴィットーリオ・エマヌエーレ2世のガッレリアは、2つのアーケードに覆われ、ドゥオーモ広場の北に位置し、ミラノスカラ広場へ通じている。イタリア王国の初代国王ヴィットーリオ・エマヌエーレ2世にちなんで名づけられたこの場所は、最初に1861年にデザインされ、イタリアの建築家ジュゼッペ・メンゴニによって1865年から1877年の間に建設された。中央の十字路部分はガラス製のドームで覆われている。このミラノのガッレリアは大きく釣り合いが取れており、近代的なショッピングモールの発展において重要な一歩を担っていた。また建物は「ガッレリア」という言葉の使用を他のどのショッピングアーケードやモールよりも鼓舞してきている。またガッレリアはミラノのドゥオーモとスカラ座というミラノにおける2つの著名な観光地へと繋がっている。

- MEMO-



- スケジュール表 -

日付	時間	内容	備考
10/8(木) 7日目		朝食	
	8:00		
	9:00		
	10:00		
	11:30	※集合前に朝食とチェックアウトをしてください。 ホテルロビー集合 ※担当者からの説明が5～10分	
	12:00	空港へ移動	昼食注意
	13:00		
	14:00		
	15:25	ミラノ発 AZ-0786便（飛行機:11時間50分）	
		機内泊	
10/9(月) 8日目	10:15	成田空港到着	
		通関後、解散	挨拶 会長、長谷川顧問
		※成田エクスプレス参考時刻 NEX14号10:48発/NEX16号11:14発、11:18発/ NEX18号11:45発,11:48発	